

**製品名: ABCG5 マウスモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMM81235**

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	72.5kDa

## 抗原情報

遺伝子名	ABCG5
別名	STSL
遺伝子 ID	64240.0
SwissProt ID	Q9H222
免疫原	大腸菌で発現したヒト ABCG5 (AA: 306-367) の精製された組み換え断片。

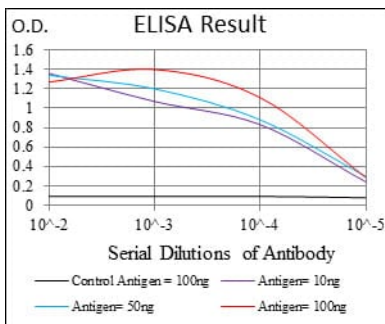
## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ATP 結合カセット (ABC) トランスポータースーパーファミリーのメンバーです。ABC タンパク質は、細胞外膜および細胞内膜を越えて様々な分子を輸送します。ABC 遺伝子は、7つの異なるサブファミリー

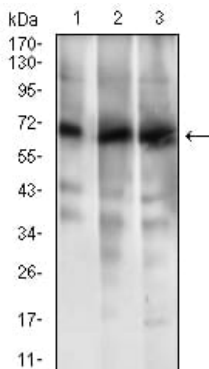
(ABC1、MDR/TAP、MRP、ALD、OABP、GCN20、White) に分類されます。このタンパク質は White サブファミリーのメンバーです。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、腸管吸収を制限し、ステロールの胆汁排泄を促進するハーフトランスポーターとして機能します。これは、肝臓、結腸、腸管において組織特異的に発現します。この遺伝子は、2番染色体上に、ファミリーメンバーの ABCG8 と頭対頭の向きでタンデムに配列されています。この遺伝子の変異は、ステロール蓄積およびアテローム性動脈硬化症に寄与する可能性があり、シトステロール血症患者で観察されています。

## 研究分野

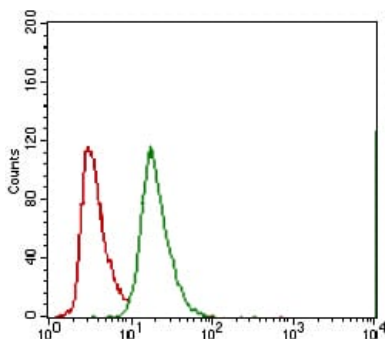
## 画像データ



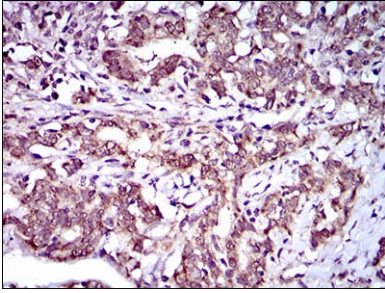
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



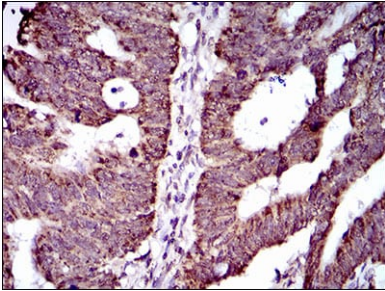
HL7702 (1)、RAJI (2)、および Jurkat (3) 細胞溶解物に対する ABCG5 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



ABCG5 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した A549 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による ABCG5 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による ABCG5 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。